

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	海田町立海田小学校 全校児童371名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ②行事名（講演会「オリンピック・パラリンピックについて」）
4 目 標 (ねらい)	・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に興味をもつ。 ・オリンピックで活躍された元女子バレーボール選手の大林素子さんの話を聞き、今後の自分に活かせることを考える。
5 取組内容	・講演会を行った。 ・事前学習として、全校朝会において、全校児童にオリンピックに関する簡単なクイズを行ったり、大林素子さんの紹介を中心とした講演会の告知を行ったりした。 ・事後の振り返りとして、大林素子さんの話を聞いて、学んだことなどについて感想を書いた。
6 主な成果	講演会の中でのオリンピックに関する話が紹介され、興味をもつことのできた児童が多かった。大林素子さんの学生時代の努力に係る話を聞き、自分にできることについて考えたり、目標をもつことの大切さを学んだりする事ができた児童が多かった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	・体育館に大林素子さんの現役時におけるスパイク最高到達点にバレーボールを設置し、設置したバレーボールを下から眺めたりジャンプしてみたりすることにより、児童にオリンピックに出場した大林素子さんの凄さを体感させることにより、オリンピックへの興味をもたせることができた。
8 主な課題等	・全校児童を対象としているため、講演会の内容が限られてしまう。1年生と6年生では、差が出るため、対象学年を絞ることも必要かもしれない。
9 来年度以降 の実施予定	・オリンピックから話を聞くことができ、児童はとても興味深く聞いたり、質問をしたりすることができていた。来年度も、オリンピックの方の話を聞いて学びを深めたい。また、実際にボールに触る姿や、実技指導をしてもらい、運動の楽しさにつなげていきたい。